

2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

※ 「1 自己評価及び外部評価結果」を評価機関から受領した時点で、3「サービス評価の実施と活用状況(振り返り)」と併せて作成します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	13	消防署や防災業者の立ち合いで、利用者も参加して災害時の通報や非難、誘導等の訓練を行っている。普段からヘルメットを各居室の壁に掛け、玄関に非常持ち出しのリュックサックを準備して、有事に備えている。	消防署の評価と訓練時に得た反省点を活かし、今後の取り組みに反映させると共に、非常時持ち出しに利用者の情報を加える	避難訓練を実施する際は、事前に反省点を振り返り日頃よりミニ訓練を行う。また利用者全員の非常時持ち出し用ファイルを作成し備える。	10ヶ月
2					ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。なお、挿入した際は、印字状態を必ず確認して下さい。